銀行の合併に伴う「補助科目」の変更

< 勘定奉行シリーズ全般 >

はじめに

この資料では、銀行合併によって、補助科目の変更が必要な場合の対処方法を説明します。 具体的には、合併前の銀行を両方とも補助科目として登録しており、合併後にひとつの補助科目として使用 する場合のみ行います。

合併前の銀行を<u>ひとつだけ使用していた場合は、</u>銀行名のみ変更します。



勘定奉行での操作

今回は、「東京三菱銀行」と「UFJ銀行」の合併により、「三菱東京UFJ銀行」となった場合を説明します。 合併する銀行が異なるケースでは、該当する銀行名に置き換えて、この資料を参照して下さい。

【資料の構成】

この資料では、以下の構成で説明してあります。

今期の処理 「三菱東京UFJ銀行」の作成の手順			
翌期の処理「開始残高」の調整の手順		「開始残高」の調整の手順	
補助科目の削除について「東京三菱銀行」「UFJ銀行」の削除の手順			
参考	勘定奉行上で、合併 「三菱東京UFJ銀行」 「三菱東京UFJ銀行」	後の「三菱東京UFJ銀行」を使用して処理を行うために、補助科目として 「」を新規に作成します。 を新規に作成する時期が、 <mark>会計期首の場合は、</mark> 翌期の処理を	
	今期の処理	として行います。	

今期の処理

[導入処理] - [科目体系登録] - [補助科目登録] メニューで、「三菱東京UFJ銀行」を補助科目として新規に登録します。 なお、コードに関しては、ご使用の会社データの科目体系に合わせた任意のものとします。

「三菱東京UFJ銀行」の新規登録

[導入処理] - [科目体系登録] - [補助科目名登録] メニューで行います。

時間 日本 日	N IAN II I KAN	- C 🛛
(F1) [F2] [F3] [F4] [F5] [F8] [F7] [F8] [F8] [F1] [F12] へんデ (中央院 名相写 法通知 新聞語 利) 56 編集 中 止 開ひる		<u>वि वेद्रे वि वि वि</u>
(F1] (F2] (F3] (F4] (F5] (F8] (F7) (F8] (F8) (F10) (F11] (F12) ヘルプ (F8)等 名相写 次画面 新画面 利用 路 編 集 中 止 閉じる		田田191日でお
ヘルプ 印刷装 (2017年)(2018日) (2018日) (20181日) (20181日) (20181日) (20181日) (20181日) (20181) (20181) (20181) (20181日) (201810101) (2018101) (2018101) (201810101) (2018101) (201810101) (201810101) (20181010101) (201810101010101) (201810101010101) (2018101001001) (201810100000000000000000000000000000000	(F1) (F2) (F3) (F4) (F5)	[F8] [F7] [F8] [F8] [F10] [F11] [F12]
	へルプ 印刷装 名相写 次画面 前画面	

「三菱東京UFJ銀行」を他の総勘定科目へ複写

複数の総勘定科目に登録する際に便利な機能として、すでに登録されている補助科目を、他の総勘定科目に複写す ることができます。

(Annu 700)	I C 🔀
F11 F21 F2 F41 (F4) (F4 F51 (F6) へルプ 印刷版 全部を 25歳前 前面面 補助相目:+1を入力して下さい現象計 ⇒ Space+- リス計 ⇒ ↓+-	(F7] (F8] (F3] (F10) (F11) (F12) (F13) (F13) (F12) (F13)

まず、複写先の総勘定科目コードを入力します。

補助科目コードにカーソルがあるときに、全複写(F3キー)を押し、[補助科目全部複写指定] 画面を開きます。 複写元の総勘定科目コードを入力します。

複写する補助科目をリストから選択し、<OK> ボタンを押します。

キーを押すと、補助科目がリストに表示されますので、登録されていることを確認できます。



複写先の総勘定科目に、選択された補助科目と同一コードの補助科目が存在する場合には、補助科目 名を上書するかのメッセージが表示されます。 その際には、他のコードを使用するようにします。

翌期の処理

まず、翌年度更新処理後の会社データを選択します。

また、繰越残高調整において、「東京三菱銀行」「UFJ銀行」にも残高が繰り越されますので、「東京三菱銀行」「UFJ銀行」の繰越金額を、「三菱東京UFJ銀行」の開始残高に手入力で加算し、移行します。

会社の選択

[機能] - [会社選択] メニューを開き、処理をする会社を切り替えます。

🖪 会社選択	
プログラムフォルダ [C:¥OBCWIN¥] 登録番号 CWMZ12345S
No. 期首 決算期 会社名	作成日付 時刻
1_17/4/1 5 OBC商事 1_16/4/1 4 OBC商事	林式会社 林式会社
<	
[F1] [F2] [F3] [F4]	[F5] [F8] [F7] [F8] [F9] [F10] [F11] [F12]
ヘルブ 初期化 削 除	表示順 新規 読 込 繰 越 検 索 変 更 閉じる
会社データを選択して下さい。[確定] => Enterキー	- []ᆴ択] => ↑ ↓ +- ['情報] => Space+-

リストの中から、翌期の会社データの行でダブルクリックします。(会計期首や決算期で判断します。)

決算整理事項等の修正のために、前期データの処理を行う場合にも、同様の方法で、前期の会社データに切り替えます。

「繰越残高調整」は、前期データ、今期データのどちらでも行うことが可能です。

開始残高の変更(部門を使用している場合も使用していない場合も必要)

前期の決算が確定した段階で、その金額を繰り越すために、[機能] - [繰越残高調整] メニューを行います。 しかし、繰越残高調整を行うと、翌期では使用しない「東京三菱銀行」と「UFJ銀行」に金額が繰り 越されます。

この繰り越された金額を「三菱東京UFJ銀行」に移行させ、「東京三菱銀行」と「UFJ銀行」の開始 残高は¥0にします。

[導入処理] - [科目残高登録] - [全社補助科目残高登録] メニューを選択します。

税処理ダイアログボックスが表示されます。



【 繰越金額を手入力する 前の画面 】

转期	2-1-110 勘定科目名	当座預金	做情区分	目方
3-1	補助科研者	#0 WH I를 MI	信方言語	留方金
101	新宿銀行	280,000	Ð	-
102	東京銀行	208.000	0	
103	みずほ銀行	108,068	Û	
104	港信用金庫	50,000	0	
105		70,000	0	1
186	東京三菱銀行	1,000,000	0	
107	UFJ銀行	2,000.000	0	
108	三菱東京UFJ銀行	500.000	0	-
0	又の後		0	
1913	11	4,200,000	D	

ここでは、必ず以下の設定で、<OK> ボタンを押します。

「<u>税抜金額」</u>を選択

「入力金額を税込金額としても登録する」にチェック

【 繰越金額を手入力する<mark>後</mark>の画面 】

📓 2 22 2	◆注補助時日秋而受益						
秋田							
THEF	110 周辰日日名	当屋預金	2016.9	17 10			
5337	捕劫科目名	前期接起	間方全調	贸方金额			
101	新宿銀行	280,000	0				
102	東京銀行	200,000	Ó				
103	みずほ銀行	100.000	0				
104	港信用金庫	50,000	0	-			
105	12 # /* * # # /#	76,000	0				
106	東京三菱銀行	0	0				
107	UFJ銀行	0	0	1			
108	三菱東京UFJ間行	3,500,000	0	-			
	その他		0				
1823	H	4,200,000	0				
(F1) ヘルゴ 税扱金額を	(F2) (F3) (F3) (F3) (F3) (F3) (F3) (F3) (F3	(F4) (F5) dido \$1dulo	(Fk) (F7) Alka	(F8) LEANCE			

「東京三菱銀行」「UFJ銀行」の「前期繰越」欄の¥3,000,000 (1,000,000 + 2,000,000) を、「三菱東 京UFJ銀行」の前期繰越額(¥500,000)に加算し、¥3,500,000と手入力します。

「前期繰越」欄の「東京三菱銀行」¥1,000,000と「UFJ銀行」¥2,000,000は、¥0と手入力します。

入力後は必ず、 Enter キーを押して確定します。



繰越残高調整は何度も行うことができますが、上記の作業を<u>その都度行うか、最終的に1度</u> だけ行います。 開始残高の変更(部門を使用している場合のみ)

部門を使用している場合は、「部門」ごとの繰越残高も調整します。

[導入処理] - [科目残高登録] - [部門別補助科目残高登録] メニューを選択します。

税処理ダイアログボックスが表示されます。

税処理選択	X
入力金額 ○ 稅抜金額	〇税込金額
☑入力金額を税込金額	良としても登録する.
通常は、貸借科目の金 入力金額を税込金額と にチェックを付けます。	3額を入力する場合「 こしても登録する。」
<u>OK</u> ++>til) <u>(MJ2°(H)</u>

【繰越金額を手入力する前の画面】 【繰越金額を手入力した後の画面】

訪問	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京		
ER	2-1 110 勘定科目者	当座預金	管信区分	信方 月
3-1	補助料目泡	前期最趋	信方金額	留方金額
101	新宿銀行	40.000		
102	夏京銀行	110,000		
103	みずほ銀行	90,000		
104	港信用金庫	150,000		
105	三非体发现行	110.000	1	1
106	夏京三菱銀行	600,600		
107	UFJ銀行	1,300,000	1	1
108	三菱東京UFJ銀行	100,000		
U	その他			
	THE OWNER OF THE OWNER OWNER OF THE OWNER OWNE	2,500,000		1

「入力金額を税込金額としても登録する」にチェック

ここでは、必ず以下の設定で、<OK> ボタンを押します。

「税抜金額」を選択

股抜				
85 M 1	1-1:1 部 1名	東京		
48 2 0	2-ト* 110 部16科目名	当座預金	管借区分	書方 月
3-4-6	補助科目名	前期繰越	信方全額	贷方金額
101	新宿銀行	40,000	0	
102	東京銀行	110,000	0	
103	みずほ根行	90,000	0	
10.4	港信用金庫	150,000	0	
100	三并佳欢保行	110,000	0	
108	東京三菱銀行	0	0	
107	UFJ銀行	0	0	
108	三菱東京UFJ銀行	2,000,000	0	
- 0	その胞	0	0	
2	81	2,500,000	0	
[F1] ヘルプ	[F2] [F3] [ED期時時 次	F4] [F5] ಹೆಸಂ 17ಹೆಸಂ	[F6] [F7] 月指定 [(F0) 57 PM

部門コードと総勘定科目コードを、それぞれ入力します。

「東京」部門の「東京三菱銀行」「UFJ銀行」の「前期繰越」¥1,900,000を、「三菱東京UFJ銀行」の前期 繰越額(¥100,000)に加算し、¥2,000,000と手入力します。

「前期繰越」欄の「東京三菱銀行」¥600,000と「UFJ銀行」¥1,300,000は、¥0と手入力します。

の手順で、登録している全ての部門に切り替え、の手順で「繰越金額」を、「三菱東京UFJ銀行」の前期繰越に加算し、の手順で「東京三菱銀行」「UFJ銀行」を、¥0と手入力します。

入力後は必ず、Enter キーを押して確定します。

参考

繰越残高調整は何度も行うことができますが、上記の作業をその都度行うか、最終的に1度 だけ行います。

補助科目の削除について

「東京三菱銀行」「UFJ銀行」の補助科目について、翌期会社データでは、今後仕訳処理において使用しなくなりますので、削除することができますが、削除するタイミングを考慮する必要があります。 なお、削除するタイミングは、勘定奉行のシステムによって異なります。

【Aシステム、太鼓判、Jシステムの場合】

前期の決算が確定し、最終的に翌期の前期繰越額へ反映が完了した段階で、削除します。



科目を削除した後に「繰越残高調整」を行うと、存在しない補助科目に金額は繰り越せないため、「チ ェックリスト」が出力されます。

その場合は、「チェックリスト」をもとに、[導入処理] - [科目残高登録] メニューで開始残高を手入力する必要があります。

【Bシステム、Superシステム、LANPACK、新ERPの場合】

[分析処理] - [過去データ入力] メニューを使用している場合には、「東京三菱銀行」「UFJ銀行」の過去データを、参照する必要がなくなった(5年間が経過した)段階、または5年以内でも任意の判断で参照する必要がなくなった段階で、削除します。